

注3

大学番号：国073

[平成25年度設置]

意見伺い

計画の区分：研究科以外の教育研究上の基本となる組織（学府）の
専攻に係る課程の変更
注1

九州大学大学院統合新領域学府
ライブラリーサイエンス専攻（博士後期課程）

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 九州大学
平成27年5月1日現在

作成担当者

総務部法令審議室法規係

係員 ^{タダ}多田 ^{モモコ}桃子

電話番号 092-802-2142

（夜間） 092-802-2142

F A X 092-802-2139

e-mail syshoki@jimu.kyushu-u.ac.jp

工学部等総務課庶務係

係員 ^{タナカ}田中 ^{リサ}里沙

電話番号 092-802-2708

（夜間） 092-802-2708

F A X 092-802-2712

e-mail kossyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院統合新領域学府

ライブラリーサイエンス専攻

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	18
7. その他全般的事項	19

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 九州大学

(2) 大学名

九州大学

(3) 大学の位置

〒812-8581
福岡県福岡市東区箱崎6丁目10番1号

〒819-0395
福岡県福岡市西区元岡744番地

(〒812-8581
福岡県福岡市東区箱崎6丁目10番1号)

- ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ア리카ワ セツオ) 有川 節夫 (平成20年10月1日)	(クボ チハル) 久保 千春 (平成26年10月1日)	任期満了のため(26)
理事	(ヤスウラ ヒロト) 安浦 寛人 (平成20年10月1日)	(マルノ シュンイチ) 丸野 俊一 (平成26年10月1日)	任期満了のため(26)
	(タカヤナギ リョウイチ) 高柳 涼一 (平成23年1月1日)	(イノウエ カズヒデ) 井上 和秀 (平成26年10月1日)	任期満了のため(26)
	(フジキ ユキオ) 藤木 幸夫 (平成22年10月1日)	(アラトノ マコト) 荒殿 誠 (平成26年10月1日)	任期満了のため(26)
	(マルノ シュンイチ) 丸野 俊一 (平成20年10月1日)	(ヤスウラ ヒロト) 安浦 寛人 (平成26年10月1日)	任期満了のため(26)
	(イマイズミ カツミ) 今泉 勝己 (平成20年10月1日)	(ワカヤマ マサト) 若山 正人 (平成26年10月1日)	任期満了のため(26)
(オチアイ ヒデトシ) 落合 英俊 (平成20年10月1日)	(ヤマガタ ユミコ) 山縣 由美子 (平成26年10月1日)	任期満了のため(26)	

	(モトキ アキヨシ) 本木 章喜 (平成22年8月1日)	(シバタ マサユキ) 芝田 政之 (平成25年8月1日) (平成26年10月1日)	任期満了のため(25) 任期満了のため(26)
	(キクカワ リツコ) 菊川 律子 (平成24年4月1日)	(アオキ レイコ) 青木 玲子 (平成26年10月1日)	任期満了のため(26)
学府長	(モリタ ヨシツグ) 森田 昌嗣 (平成23年4月1日)	(ウチヤマ マコト) 内山 誠 (平成26年4月1日)	任期満了のため(26)
専攻長	《ユーザー感性学専攻》 (キヨスミ マサヒロ) 清須美 匡洋 (平成24年4月1日)	《ユーザー感性学専攻》 (サカダチ コウイチ) 藤枝 守 (平成26年4月1日) (サカグチ コウイチ) 坂口 光一 (平成27年4月1日)	任期満了のため(25) 任期満了のため(27)
	《オートモーティブサイエンス専攻》 (ムラセ エイチ) 村瀬 英一 (平成25年4月1日)	《オートモーティブサイエンス専攻》 (アベ ケンイチ) 安倍 賢一 (平成26年4月1日) (シドウジ カズノリ) 志堂寺 和則 (平成27年4月1日)	任期満了のため(25) 任期満了のため(27)
	《ライブラリーサイエンス専攻》 (ミワ ムネヒロ) 三輪 宗弘 (平成25年4月1日)	《ライブラリーサイエンス専攻》 (トミウラ ヨウイチ) 富浦 洋一 (平成27年4月1日)	任期満了のため(27)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の博士後期課程の場合(平成27年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等 の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
統合新領域学府 ライブラリーサイエンス専攻 博士(ライブラリーサイエンス)	3 年	3 人	9 人	基礎となる学部等 人文科学府、経済学府、比較 社会文化学府、システム情報 科学府

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	3人 (3) []	人	3人 (3) []	人	3人 (3) []	人	3人 (3) []	人	0.77倍 0.83倍	-	
志願者数	3 (3) [-]	- (-) [-]	3 (2) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	3 (3) [-]	- (-) [-]	2 (2) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	3 (3) [-]	- (-) [-]	2 (2) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	3 (3) [-]	- (-) [-]	2 (2) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.00		0.66		0.66						

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 3	[-] (-) -	[-] (-) 2	[-] (-) -	[-] (-) 2	[-] (-) -	平成25年度入学者1名は平成26年度から1年間休学
2年次	/		[-] (-) 2	[-] (-) -	[-] (-) 2	[-] (-) -	
3年次			/		[-] (-) 3	[-] (-) -	
計	[-] (-) 3	[-] (-) 4			[-] (-) 7	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	3人	0人	平成25年度	人	人		0%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	2人	0人	平成26年度	人	人		0%
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	2人	0人	平成27年度	人	人		0%
合計	7人	0人					0%

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<ライブラリーサイエンス専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
特別研究	ライブラリーサイエンス特別研究	1～3通	12			4	3					
専攻共通科目	ライブラリーサイエンス特論	2前	1			4	3					集中・オムニバス
	プレゼンテーション演習	1・2前・後	1			4	3					

- (注)
- ・ 設置計画書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成26年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 0	科目 0	科目 3	科目 3	科目 0	科目 0	科目 3	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注)
- ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	
設置時の計画の授業科目数の計	3		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	682,795 m ²	m ²	m ²	682,795 m ²			
	運動場用地	305,067 m ²	m ²	m ²	305,067 m ²			
	小 計	987,862 m ²	m ²	m ²	987,862 m ²			
	そ の 他	74,924,335 m ²	m ²	m ²	74,924,335 m ²			
	合 計	75,912,197 m ²	m ²	m ²	75,912,197 m ²			
(2) 校 舎	専 用	711,364 m ²	m ²	m ²	711,364 m ²			
	(711,364 m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(711,364 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	2 室	1 室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻 (博士後期課程)			7 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
		統合新領域学府 ライブラリーサイエ ンス専攻 (博士後期課程)	2,468,813 [992,029] (2,468,813 [992,029])	58,040 [20,531] (58,040 [20,531])	63,287 [57,523] (63,287 [57,523])	50,146 (50,146)	139 (139)	410,000 (410,000)
	計	2,468,813 [992,029] 2,468,813 [992,029]	58,040 [20,531] (58,040 [20,531])	63,287 [57,523] (63,287 [57,523])	50,146 (50,146)	139 (139)	410,000 (410,000)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	16,918 m ²		826 席		1,269,167 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	3,379 m ²		・野球場1面 ・400mトラック1面 ・一般運動場 ・25mプール ・その他					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		国費による						

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA/C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	九州大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
人文科学府					修士 (文学) 博士 (文学)			福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番 1号
人文基礎専攻							平成12年度	
修士課程	2	16		32		0.52		
博士後期課程	3	7		21		0.52		
歴史空間論専攻							同上	
修士課程	2	20		40		0.52		
博士後期課程	3	9		27		0.40		
言語・文学専攻							同上	
修士課程	2	20		40		0.80		
博士後期課程	3	9		27		0.96		
地球社会統合科学府					修士 (学術) 修士 (理学) 博士 (学術) 博士 (理学)			福岡県福岡市西区 大字元岡744番 地
地球社会統合科学専攻							平成26年度	
修士課程	2	60		120		1.06		
博士後期課程	3	35		70		1.07		
比較社会文化学府					修士 (比較社会文 化) 修士 (理学) 博士 (比較社会文 化) 博士 (理学)			福岡県福岡市西区 大字元岡744番 地
日本社会文化専攻							平成12年度	平成26年度より学 生募集停止
修士課程	2	—		—		—		
博士後期課程	3	—		—		—		
国際社会文化専攻							同上	
修士課程	2	—		—		—		
博士後期課程	3	—		—		—		
人間環境学府					修士 (人間環境 学) 修士 (文学) 修士 (教育学) 修士 (心理学) 修士 (工学) 博士 (人間環境 学) 博士 (文学) 博士 (教育学) 博士 (心理学) 博士 (工学) 臨床心理 修士 (専門職)			福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番 1号
都市共生デザイン専攻							平成12年度	
修士課程	2	20		40		0.90		
博士後期課程	3	5		15		0.66		
人間共生システム専攻							同上	
修士課程	2	11		22		0.67		
博士後期課程	3	9		27		1.14		
行動システム専攻							同上	
修士課程	2	17		34		0.73		
博士後期課程	3	10		30		0.80		
教育システム専攻							平成17年度	
修士課程	2	19		38		0.97		
博士後期課程	3	9		27		0.66		
空間システム専攻							平成12年度	
修士課程	2	28		56		1.33		
博士後期課程	3	7		21		0.37		
実践臨床心理学専攻 専門職学位課程	2	30		60		0.71	平成17年度	
法学府					修士 (法学) 博士 (法学)			福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番 1号
法政理論専攻							平成22年度	
修士課程	2	72		134		0.46		
博士後期課程	3	17		51		0.42		
法務学府					法務博士 (専門職)			福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番 1号
実務法学専攻 専門職学位課程	3	45		185		0.65	平成16年度	
経済学府					修士 (経済学) 博士 (経済学)			福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番 1号
経済工学専攻							平成12年度	

修士課程	2	20	40	経営修士	1.12			
博士後期課程	3	10	30	(専門職)	0.40	平成15年度		
経済システム専攻								
修士課程	2	27	54		0.94			
博士後期課程	3	14	42		0.49	同上		
産業マネジメント専攻								
専門職学位課程	2	45	90		0.90			
理学府				修士			福岡県福岡市東区	
物理学専攻				(理学)			箱崎6丁目10番	
修士課程	2	41	82	博士	0.97		1号	
博士後期課程	3	14	42	(理学)	0.73			
化学専攻								
修士課程	2	62	124		1.00			
博士後期課程	3	19	57		0.53			
地球惑星科学専攻								
修士課程	2	41	82		0.93			
博士後期課程	3	14	42		0.44			
数理学府				修士			福岡県福岡市西区	
数理学専攻				(数理学)		平成12年度	大字元岡744番	
修士課程	2	54	108	修士	0.96		地	
博士後期課程	3	20	60	(技術数理学)	0.80			
				博士				
				(数理学)				
				博士				
				(機能数理学)				
システム生命科学府				修士			福岡県福岡市東区	
システム生命科学専攻				(システム生命科学)		平成15年度	箱崎6丁目10番	
博士課程	5	54	270	修士	1.46		1号	
				(理学)				
				修士				
				(工学)				
				修士				
				(情報科学)				
				博士				
				(システム生命科学)				
				博士				
				(理学)				
				博士				
				(工学)				
				博士				
				(情報科学)				
医学系学府				修士			福岡県福岡市東区	
医学専攻				(医科学)		平成20年度	馬出3丁目1番1	
博士課程	4	107	428	修士	1.19		号	
				(看護学)				
医科学専攻				修士		平成15年度		
修士課程	2	20	40	(保健学)	0.75			
				博士				
				(医学)				
保健学専攻				博士				
修士課程	2	27	47	(看護学)	1.45	平成19年度		
				博士				
				(保健学)				
博士後期課程	3	10	30	医療経営・管理	1.20	平成21年度		
医療経営・管理学専攻				学修士		平成13年度		
専門職学位課程	2	20	40	(専門職)	0.90			
歯学府				博士			福岡県福岡市東区	
歯学専攻	4	43	172	(歯学)	0.86	平成12年度	馬出3丁目1番1	
				博士			号	
				(臨床歯学)				
				博士				
				(学術)				
薬学府				修士			福岡県福岡市東区	
創薬科学専攻				(創薬科学)			馬出3丁目1番1	
修士課程	2	55	110	博士	0.83	平成22年度	号	※平成24年度より
博士後期課程	3	12	36	(創薬科学)	1.88	平成24年度		学生募集停止(創薬
医療薬科学専攻				博士		平成12年度		科学専攻博士後期
博士後期課程	3	—	—	(臨床薬学)	—			課程、医療薬学専攻
創薬科学専攻								博士後期課程)
博士後期課程	3	—	—			同上		
臨床薬学専攻								
博士課程	4	5	20		1.45	平成24年度		
工学府				修士			福岡県福岡市西区	
物質創造工学専攻				(工学)		平成12年度	大字元岡744番	
修士課程	2	38	76	博士	0.86		地	
博士後期課程	3	10	30	(工学)	1.30			
物質プロセス工学専攻						同上		

修士課程	2	30	60	1.28		
博士後期課程	3	9	27	0.77		
材料物性工学専攻					同上	
修士課程	2	33	66	1.10		
博士後期課程	3	7	21	0.95		
化学システム工学専攻					同上	
修士課程	2	35	70	1.39		
博士後期課程	3	10	30	0.66		
建設システム工学専攻					同上	
修士課程	2	24	48	1.24		
博士後期課程	3	8	24	0.95		
都市環境システム工学専攻					同上	
修士課程	2	28	56	1.24		
博士後期課程	3	8	24	0.91		
海洋システム工学専攻					同上	
修士課程	2	21	42	1.16		
博士後期課程	3	8	24	0.50		
地球資源システム工学専攻					同上	
修士課程	2	20	40	1.92		
博士後期課程	3	8	24	0.83		
エネルギー量子工学専攻					同上	
修士課程	2	28	56	1.26		
博士後期課程	3	12	36	0.55		
機械工学専攻					平成22年度	
修士課程	2	62	124	1.25		
博士後期課程	3	19	57	0.45		
水素エネルギーシステム専攻					同上	
修士課程	2	30	60	1.36		
博士後期課程	3	9	27	1.40		
航空宇宙工学専攻					平成12年度	
修士課程	2	30	60	1.19		
博士後期課程	3	12	36	0.41		
芸術工学府						福岡県福岡市南区塩原4丁目9番1号
芸術工学専攻					平成15年度	
修士課程	2	92	184	1.04	(平成16年4月)	
博士後期課程	3	25	75	0.68	学生受入)	
デザイン・デザイン-専攻						
修士課程	2	28	56	1.17	平成18年度	
博士後期課程	3	5	15	1.46	平成20年度	
システム情報科学府						福岡県福岡市西区大字元岡744番地
情報学専攻					平成21年度	
修士課程	2	40	80	1.12		
博士後期課程	3	14	42	0.59		
情報知能工学専攻					同上	
修士課程	2	45	90	1.21		
博士後期課程	3	15	45	1.04		
電気電子工学専攻					同上	
修士課程	2	55	110	1.40		
博士後期課程	3	16	48	0.70		
総合理工学府						福岡県春日市春日公園6丁目1番地
量子プロセス理工学専攻					平成12年度	
修士課程	2	37	74	1.77		
博士後期課程	3	14	42	0.99		
物質理工学専攻					同上	
修士課程	2	37	74	1.47		
博士後期課程	3	14	42	0.59		
先端エネルギー理工学専攻					同上	
修士課程	2	34	68	1.26		
博士後期課程	3	12	36	0.30		
環境エネルギー工学専攻					同上	
修士課程	2	26	52	1.26		
博士後期課程	3	9	27	0.62		
大気海洋環境システム学専攻					同上	
修士課程	2	30	60	1.11		
博士後期課程	3	11	33	0.45		

生物資源環境科学府					修士 (農学) 博士 (農学)			福岡県福岡市東区 箱崎6丁目10番 1号
資源生物科学専攻						平成22年度		
修士課程	2	50		100		0.99		
博士後期課程	3	19		57		0.69		
環境農学専攻						同上		
修士課程	2	75		150		0.74		
博士後期課程	3	27		81		0.44		
農業資源経済学専攻						同上		
修士課程	2	13		26		0.88		
博士後期課程	3	5		15		1.00		
生命機能科学専攻						同上		
修士課程	2	106		212		0.84		
博士後期課程	3	12		36		0.49		
生物産業創成専攻						同上		
博士後期課程	3	14		42		0.71		
統合新領域学府					修士 (感性学) 修士 (芸術工学)			福岡県福岡市東区 箱崎6丁目10番 1号
ユーズー感性学専攻					修士 (感性学)			
修士課程	2	30		60	修士 (感性学)	1.28	平成21年度	
博士後期課程	3	4		12	修士 (工学)	0.33	平成23年度	
オートモーティブサイエンス専攻					修士 (工学)		平成21年度	
修士課程	2	21		42	修士 (工学)	0.97		
博士後期課程	3	7		21	博士 (工学)	0.56		
ライブサイエンス専攻					博士 (工学)			
修士課程	2	10		20	博士 (工学)	0.60	平成23年度	
博士後期課程	3	3		9	博士 (工学)	0.77	平成25年度	

大学の名称	九州大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	取 込 定 員	容 積 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
文学部						学士 (文学)		平成12年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番 1号
人文学科	4	160			640	学士 (文学)	1.04		
教育学部	4	50			200	学士 (教育学)	1.09	昭和24年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番 1号
法学部	4	200			800	学士 (法学)	1.01	昭和24年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番 1号
経済学部						学士 (経済学)			福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番 1号
経済・経営学科	4	150	3年次		620	学士 (経済学)	1.04	平成12年度	
経済工学科	4	90	3年次	10	380	学士 (工学)	1.03	昭和52年度	
理学部						学士 (理学)			福岡県福岡市東区 箱崎6丁目10番 1号
物理学科	4	59			236	学士 (理学)	1.07	昭和24年度	
化学科	4	67			268		1.06	同上	
地球惑星科学科	4	48			192		1.05	平成2年度	
数学科	4	54	3年次		226		1.03	昭和24年度	
生物学科	4	49		5	196		1.09	同上	
医学部						学士 (医学)			福岡県福岡市東区 馬出3丁目1番1 号
医学科	6	111			665	学士 (生命科学)	1.00	昭和24年度	
生命科学科	4	12			48	学士 (看護学)	1.10	平成19年度	

保健学科	4	137	548	学士 (保健学) 学士 (学術)	1.03	平成14年度		平成15年4月学生受入
歯学部 歯学科	6	53	320	学士 (歯学)	1.00	昭和42年度	福岡県福岡市東区 馬出3丁目1番1号	
薬学部 創薬科学科	4	50	200	学士 (創薬科学) 学士 (薬学)	1.05	平成18年度	福岡県福岡市東区 馬出3丁目1番1号	
臨床薬学科	6	30	180	学士 (学術)	1.01	同上		
工学部 建築学科	4	60	240	学士 (工学) 学士 (学術)	1.09	昭和29年度	福岡県福岡市西区 大字元岡744番地	
電気情報工学科	4	158	632		1.06	平成8年度		
物質科学工学科	4	168	672		1.07	平成9年度		
地球環境工学科	4	150	600		1.05	平成10年度		
エネルギー科学科	4	99	396		1.06	同上		
機械航空工学科	4	169	676		1.10	平成11年度		
芸術工学部 環境設計学科	4	38	152	学士 (芸術工学) 学士 (学術)	1.06	平成15年度	福岡県福岡市南区 塩原4丁目9番1号	平成16年4月 学生受入
工業設計学科	4	48	192		1.06			
画像設計学科	4	38	152		1.06			
音響設計学科	4	38	152		1.04			
芸術情報設計学科	4	40	160		1.04			
農学部 生物資源環境学科	4	229	916	学士 (農学) 学士 (学術)	1.06	平成10年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目10番1号	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
- ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<ライブラリーサイエンス専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	折田 悦郎 (58)	平成25年4月1日	ライブラリーサイエンス特別研究 ライブラリーサイエンス特論 プレゼンテーション演習			折田 悦郎 (60)			
専任	教授	三輪 宗弘 (53)	平成25年4月1日	ライブラリーサイエンス特別研究 ライブラリーサイエンス特論 プレゼンテーション演習			三輪 宗弘 (55)			
専任	教授	富浦 洋一 (51)	平成25年4月1日	ライブラリーサイエンス特別研究 ライブラリーサイエンス特論 プレゼンテーション演習			富浦 洋一 (53)			
専任	教授	廣川 佐千男 (58)	平成25年4月1日	ライブラリーサイエンス特別研究 ライブラリーサイエンス特論 プレゼンテーション演習			廣川 佐千男 (60)			
専任	准教授	井上 仁 (49)	平成25年4月1日	ライブラリーサイエンス特別研究 ライブラリーサイエンス特論 プレゼンテーション演習			井上 仁 (51)			
専任	准教授	石田 栄美 (39)	平成25年4月1日	ライブラリーサイエンス特別研究 ライブラリーサイエンス特論 プレゼンテーション演習			石田 栄美 (41)			
専任	准教授	渡邊 由紀子 (49)	平成25年4月1日	ライブラリーサイエンス特別研究 ライブラリーサイエンス特論 プレゼンテーション演習			渡邊 由紀子 (51)			

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
4	3	7	4	3	7	65	0	65	0
(4)	(3)	(7)	[0]	[0]	[0]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		該当なし	
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<統合>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>統合新領域学府では「学府長・専攻長会議」を定期的開催し教育内容に係る協議を行うと共に、各専攻においても独自の取り組みを行っている。</p> <p>ライブラリーサイエンス専攻においては、教育の質の向上を図るため、専攻運営会議を開催し諸課題への対応策を協議すると共に、教員と学生との合同懇談会（ラウンドテーブル）を定期的開催し、学生の意見や要望を教育研究活動に反映していく体制を構築している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>学府長・専攻長会議：原則毎月1回程度を予定。（学府長及び専攻長が参加。）</p> <p>専攻運営会議：随時（原則毎月1回程度。毎回半数以上の教員が参加。）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>○学府長・専攻長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学府の運営、各専攻の現状把握 <p>○専攻運営会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専攻の運営等 ・ 合同懇談会（ラウンドテーブル）の開催計画、開催後の学生からの意見への対応の審議 ・ 入学試験の実施方法 ・ 授業評価アンケートの実施・分析 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同懇談会（ラウンドテーブル）… 専攻教育全般についての学生からの意見の聴取とそれへの対応 ・ 授業評価アンケートの分析 ・ 専攻の独自性や目標についての相互理解 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員と学生との専攻での教育・研究ならびにその環境に関する意見交換の場である「ラウンドテーブル」を開催。教員の募金により昼食として弁当を用意し、自由な雰囲気での意見交換を行う。学生からの質問・要望で即答できないものに対しては後日文書で回答する。 ・ 授業評価は、授業期間終了後に実施し、教務事務で集計し、教務WGで分析、運営会議で報告・対応の検討。 ・ 専攻の独自性や目標については、専攻運営会議の場で意見交換することにより、相互理解を深める。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>合同懇談会（ラウンドテーブル）は年に1回または2回開催。平成26年度は1回のみ開催（9月）。教員7名、学生13名が参加。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>ラウンドテーブルで、学生から授業外での負荷（レポート作成等）が高いとの意見があったが、1単位は45時間の修学に相当すると規定されていることを学生に伝え、時間外での修学の必要性の理解を求めた。また、授業時間外での学生相互、学生・教員間のコミュニケーションが少ないとの意見が出され、懇親会を含め、授業時間以外での学生との交流を進めるための方策について検討中である。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>各学期末（8月、2月）に実施。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>公開はしていない。総括を教務WGから報告。当該授業の担当教員には内容を知らせる。</p>
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 (別紙のとおり)
② 自己点検・評価報告書
a 公表(予定)時期 ・平成28年9月1日 公表予定
b 公表方法 ・統合新領域学府のホームページ上において公開(平成28年9月を予定)
③ 認証評価を受ける計画 ・次回は、平成26年度に大学評価・学位評価授与機構の評価を受けており、 今後も定期的に受けるべく、検討している。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
b 公表時期(未公表の場合は予定時期)	(平成27年 6月 1日)

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻博士後期課程は、ICT環境の急速な発展に伴い、膨大な記録や様々な情報に対して、情報の管理・提供に関する課題を解決し、利用者の必要とされる情報を迅速に提供でき、情報が活用され得る管理・提供法を構築する研究者を養成することを目指して、平成25年4月に設置した。

平成27年度入学試験においては、定員3名に対して2名が受験した。志願者は本専攻の修士課程修了者1名と学外者1名であった。修士論文、論文・報告書やこれまでの研究について説明をさせ、内容について質疑応答を行った。また、今後の研究計画について説明を求め、研究テーマの妥当性に関する質問を行った。外国語（英語）については、書類審査の時点で筆記試験に見られる英語能力は高いと判断されたため、日本語による口頭試問の質疑の一つ取り上げさせ、その回答を英語で行わせ、コミュニケーションの道具として英語を活用できるかを見た。その結果、総合的に判断して2名を合格とした。

入学直後に、オリエンテーションを実施して、本専攻におけるカリキュラムや履修体系について説明した。平成26年度は、平成25年度に引き続き1・2年生に対して、前期、後期にそれぞれ「プレゼンテーション演習」を開講し、学生が自身の研究を発表し、その内容に対して教員と学生を交えて議論をするとともに、外部発表や学位論文執筆に向けたアドバイスをを行った。平成26年度は本演習に加え、年次進行に伴い、2年生に対して「ライブラリーサイエンス特論」を開講した。本科目は、専門性の異なる本専攻博士後期課程の専任教員7名がライブラリーサイエンスに関する最新の研究をオムニバス形式で紹介し、専任教員と学生との間で討論を行いうものである。情報の管理・提供に関する様々な研究事例を通して、図書館情報学、アーカイブズ学、情報科学それぞれの立場からの課題解決に向けた考え方を伝えることができたと考えている。

本専が目指す人材を養成するためには、専門性の異なる複数の教員が、様々な観点や立場から指導・助言することが必要である。このため、1名の主指導教員と2名の副指導教員を配置し、教育・研究指導を行う。さらに、研究テーマによっては、本専攻博士後期課程の専任教員以外の本学に所属する教員、または他の大学や研究所の教員等をアドバイザー委員として加え、短期集中の指導を実施する。これまで、アドバイザー委員を加えた指導の実績はないが、今後を考慮し、今年度中にアドバイザー委員を加える際の手続きについて専攻内での合意を図る予定である。

平成27年度は博士後期課程の完成年度であり、学位論文の提出が予想されるため、今年度前期終了までに、実質的な審査基準に関する専攻内の合意を図る予定である。

今後も、定期的なFDや自己点検・評価、ラウンドテーブルを実施し、本学府ライブラリーサイエンス専攻博士後期課程における教育研究の質の維持向上を図っていく。